



☆ 核医学検査の紹介 ☆

当院はRI検査で使用する『ガンマカメラ』とPET検査で使用する『PET/CT』の二台の装置を導入しています。核医学検査とは、放射性医薬品という放射線を発生する薬剤を体内に注射し、臓器に集まった薬剤をガンマカメラで撮像することで、その臓器の機能や状態などが分かります。使用する薬剤から発生する放射線はごく微量で、有効期限(半減期)が短いため人体への影響は少ないと言えます。当院では、骨、腫瘍、脳、心臓、腎臓などの機能や状態を調べる検査が可能です。今回は、RI検査の骨シンチ検査について説明します。

☆骨シンチ検査

骨に集まる薬剤を血管内に注射します。骨に集まるまで2時間以上かかるため、検査は注射から3~5時間程度あけてから開始します。検査時間は30分程度です。通常、骨はカルシウム代謝をしており、転移や骨折などの場合、代謝が活発になります。代謝が活発になったところに薬剤が集まりやすくなり、より多く集まったところが骨の異常として画像に現れます。また、投与された薬剤は尿と一緒に体外に排泄されます。異常を見つけやすくするために検査前に必ず排尿していただきます。

正常例



異常例 (多発性骨転移)



☆核医学検査を受けるにあたって注意することは？

放射性医薬品は、有効期限が非常に短くRI検査で使用する薬剤は約1日、PET検査で使用する薬剤は4時間程度であるため、検査当日に病院に届きます。予約のキャンセルは前日の午後4時(日祝日は前診療日の午後4時)までに連絡をお願いします。それ以降のキャンセルは薬剤の料金をご負担いただく場合があります。また、食事制限などの前処置が必要な検査もありますので、予約の際にご確認ください。

☆下記に当てはまる方は検査が出来ない場合がありますのであらかじめ医師にご相談ください。

- 妊娠中、または妊娠している可能性のある女性
- 授乳中の女性
- 乳幼児がいる方
- ベッド上で静止安静にできない方
- ☆検査終了後も体内から放射線が発生しています。小児・幼児と同居などしている方は、検査当日は添い寝や抱っこなど長時間の接触は避けてください。接触時間などは検査担当技師にご相談ください。

☆ 担当者からの一言 ☆



診療放射線技師
齋藤 大輔

☆こんにちは、齋藤です。
核医学検査を担当して3年になります。
特殊な検査も多く日々勉強です。
仕事の後はお酒を飲みに行き、疲れを吹き飛ばすのが今一番の楽しみです。
おススメのお店があれば、是非教えてください。

RI・PET/CT
担当技師 6名

よろしくお願
いたします。



放射線科ウェブサイトは
こちらのQRコードから



www.meiyokai.or.jp/narita/rad

CT・MRI検査など緊急の場合は個別相談にて対応させていただきます。お気軽にお問い合わせください。

ご予約・お問い合わせは
地域医療連携室まで

☎ 0532-31-2528

FAX 0532-31-2279

8:30~17:30 (月~金)

受付時間 8:30~12:30 (土)

